



見附市立名木野小学校
学校便り 7月号

平成27年7月17日

TEL 0258-62-0091

(URL) <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~nagnino/>

(E-mail) nagino@mitsuke-ngt.ed.jp



チェンジするチャンス



校長 山本 哲哉

「校長先生は子どもの頃通った小学校が4つあります。小学校の担任の先生は、7人います」。そう話すと、体育館にいる子どもたちからどよめきが起こりました。

北海道で生まれた私は、サラリーマンだった父親の仕事の関係で、北海道の各地を転々としました。旭川で生まれ、7歳（小1、小2）までいました。その後、日本海に面した遠別に1年（小3）、流氷が来る紋別で2年（小4、小5）、樺太が見える稚内で3年（小6、中1、2）過ごしました。その後は、福島県や新潟県でも過ごしました。

「先生は、小学校の頃、放課後や休みはよく野球をしていました。でも、とっても泣き虫だったのです」。子どもたちは真剣に話を聞いています。

「それでね、泣き虫てっちゃんって言われていて、いつか直そうと思っていたけれど、なかなか直すことができなかったのです」…。「そこで、一回目の転校の時、新しいところでは、絶対に泣かないようにしようと思いました。でもうまくいきませんでした。野球をしていて、みんながアウトと言うのに、自分はセーフって言って。思い通りにならないと、やっぱり涙が出てしまいました。試合に負けると、悔しくてみんなの前で、おいおい泣いてしまいました」…。「でもね、次の転校が決まった時、チャンスだ！今度こそは…、と思いました。それでね、どうなったと思う？次の転校先では、少しずつだけど我慢できるようになったのです。時間はかかったけれど、自分の弱いところ、直したいところをチェンジすることができました」…。

その後、子どもたちには、「自分の弱いところ」「直したい自分」を想起させました。まさに「気付く」という部分です。気付けば、その自分を「チェンジする」「チャンス」がみんなにはあるのですと、話を続けました。勉強など面倒くさいと言う自分、まあいいやと発表しない自分、知らん顔する自分、危ない自転車運転をする自分、ゲームばかりする自分…。

もう少しで夏休みです。夏休み前にチェンジさせちゃいましょう！今日も、目を向けてしっかり話を聞くことができました。ありがとう！と言って締めくくりました。

夏休みは、子どもが家庭や地域にいることが多くなります。子どものチェンジした成長の姿が見られたら、「ありがとう」の感謝の言葉、「〇〇ができるんだね」のできたことや伸びを認める言葉、「～してくれて嬉しいよ」の喜びを伝える言葉などを、忘れず届けたいと思います。それはきっと、子どもをチェンジさせる次の原動力になるのです。

